

TOKONAME	No. 242
看護だより	
NURSE	平成19年3月2日

日差しも力強くなり気温も上向いて春めいてきました。冬場は部屋の奥まで差し込んでいた日の光も少しずつ窓辺に近づき、逆に今まで日陰になっていた庭先にもだんだん日が当たるようになりました。今年は例年よりも早く春一番が吹きましたが、これからは桜の開花の便りが楽しみです。



【 研修報告 】

* 電子カルテ時代の看護記録 平成19年1月12日 3階病棟 小野 由美

今回の研修会に参加した85名の内、3分の1の施設が電子カルテを導入していました。電子カルテを導入する意義として 医療サービスの向上 医療の質の向上 労働時間の短縮などがあります。実際導入されていたK病院ではPC台数に限りがあり、患者の情報収集の時間がとりにくいなどリアルタイムに入力できないことが多く、時間短縮にはなっていないそうです。またメリットとして何時でもどこからでもアクセスでき、自宅にいながら医師が患者の情報を参照できることも可能である反面、デメリットとしてのウイルス混入による機能停止に気をつけなければなりません。今後、電子カルテ導入となれば稼動するまで大変ですが、少しでも電子カルテのメリットを生かせるものを作り上げる必要があります。

* 診療報酬と看護対策 平成19年1月23日 3階病棟 亀井 弥生

診療報酬改定後の反応は、ゆとりができた、人員が病棟に偏ったため外来が忙しくなったという声が聞かれているそうです。しかし当院はどうでしょう。外来も病棟も忙しく、ゆとりなどとてもないという声が聞かれます。この改定は10対1・7対1と看護体制によってランク付けをし、それによって入院基本料の算定基準に差を付け、急性期医療体制の充実・生活空間の充実を図るものです。そのなかには入院診療計画の義務化・褥創対策・平均在院日数の短縮・クリティカルパスの導入・経営の効率化が求められています。診療報酬改定も看護師の人数で保険点数が変わってくるわけですから病院の経営を担っているといっても言い過ぎではないでしょう。看護師を集めるために職場の環境改善・看護師募集の工夫・離職している看護師が復職しやすい環境作りなど、看護師が集まるような工夫をしていかなければいけないと感じました。今回の研修でいろいろな情報と発想する機会をいただいたので、今後の業務に役立てていきたいです。

* 新人看護師の職場適応の支援 平成19年2月2日 東5階病棟 小野 久美子

愛知県看護協会主催の研修で新卒看護師の早期離職防止について講義を受けた。現在、看護界では「7対1看護体制」取得のため、どこの病院でも看護師の人員不足が生じている。新人看護師の早期離職が問題になっているが、新人だけでなく、看護師全体の離職防止を考えていく必要がある。看護師を辞めずに続けていくためには、「やりがい・成長観・仕事の面白み」を持つことにある。それをどのように感じさせていくのが離職防止のポイントであり、それをサポートしていくために病院としては何を行っていくかが課題である。そのためには、施設と看護師の特徴を踏まえ、施設に合った教育を検討していくことが必要である。今後、現任教育委員会の中で、興味・関心のあることは何かを把握して、「受けたい研修」を企画していきたいと思う。

【 研修のお知らせ 】

3月 6日(火)	新人フォローアップ研修「1年を振り返って」	2階会議室	17:30~
3月20日(火)	卒後7年目以上研修「成果発表会」	5階会議室	17:30~

新人フォローアップ研修「楽しく学ぼうローテーション研修」を受けて!

腎センター・手術センター・西4階病棟・外来・救急外来を1日ずつ回らせて頂きました。腎センターでは透析の様子がよく分かりました。オペ室では術前訪問にも同行し、情報収集や患者様との関わりの様子が分かりました。また、気管挿管の介助やガウンテクニックなど体験できました。西4階病棟ではバイパップの装着やホット外来の様子、IVHの挿入の介助などを見ることができました。整形外来ではギブスを自分の手に巻いてもらい、ギブスカットも体験しました。耳鼻科外来では聴力検査を行ってみることができました。救急外来では心臓マッサージや死後の処置をさせて頂きました。普段あまり行わない看護を実際体験して、看護は広いと実感しました。とても楽しく学ぶことができました。今後、この経験はどこかで生きてくると思います。ありがとうございました。

看護師 A

今年初めての試みということで、ローテーション研修初の研修生でした。初めは「どんな研修になるだろう」「どんなスタッフさんに教えてもらうのだろう」と緊張と期待で一杯でした。1週間で腎センター・3階病棟・手術センター・救急外来・各外来へ研修に行きました。1日だけじゃ分からない部分ばかりでしたがとても興味が沸き、病棟には見えなかったことなど、関連付けて学べてとても有意義なものでした。私はまだ気管挿管の介助をした事がなく、手術室センターで初めて経験をしました。ローテーション研修で未修得の技術を学ぶという目標も達成できました。1週間は短かったけど、とても楽しかったです。研修で教えてくださったスタッフのみなさんありがとうございました。

看護師 B

新人フォローアップ研修最終段階として、『楽しく学ぼうローテーション研修』を企画・実施してみました。研修目標は 実践現場での不安・不足な技術や未修得技術等を明確にし、研修で補足する事ができる 今後の看護活動の自信・発展に繋げることができる 学びたい事を学び、モチベーションの向上をはかることができる 主体的に学ぶことの楽しさがわかる、の4つでした。

今回のローテーション研修の結果は、研修生の満足度は非常に高く研修目標もほぼ達成できました。そして何よりも嬉しかったのは「私たちの方こそ勉強になりました。またこんな研修を企画してください!」と言ってくれた先輩看護師(ローテーション研修教育担当者)の言葉です。今後も学習者・教育者共に満足度の高い研修を企画・運営していきたいと思ひます。

教育担当師長 久米 淳子